ROTARY INTERNATIONAL 2720

第2720地区 Rotary TAMANA RC

玉名ロータリークラブ週報

2023～2024

世界に希望を生み出そう

R　I　会　長	ゴードンR・マッキナリー
地区ガバナー	膳所　和彦
会長	田中雄三郎
幹事	深見京司
公共イメージ委員長	井上　幸

例会日 ■ 毎週木曜日／12：30～13：30
例会場 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺50-4　司ロイヤルホテル内
事務局 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺540-1-102

令和5年10月26日　No.2579

玉名RCメールアドレス　jimu@tamanar.club
ホームページアドレス　http://tamanar.club

今日の会長の時間は、再びシリコンアイランド熊本、「TSMC高速」の整備急ぐと題した記事がありましたのでご紹介します。

前回は交通渋滞の解決策をご紹介した内容でしたが、今回はシリコンアイランドの発展を加速する取り組みについて書かれていたので、読みます。

熊本菊陽町では、周辺のインフラ整備、原材料の搬入や製品の出荷、スムーズな物流網構築が欠かせない。30年前から計画されてきた、大分市と熊本市120kmを結ぶ高規格道路（中九州横断道路）だ。9月24日に着工式を迎えた。熊本北JCTと合志IC9.1kmを整備する2020年事業着手、調査設計、用地買収を進めてきた。この区間が開通すれば、福岡、長崎、鹿児島から、TSMCや、ソニー、東京エレクトロンが立地するセミコンテクノパーク付近をつなぐ高速物流ルートが整う。さらに、大津西ICまでの区間の事業化も決定している。いわばTSMC高速の早期開通を少しでもスピードアップしようと、熊本県と合志市は国に代わって道路要地の一部先行取得する構えだそうです。県は、「ラストワンマイル」物流も改善しようと、セミコンテクノパーク付近への（IC）の設置や工場までのアクセス道路の新設も視野に入れているとのことです。

8月21日には、県知事は岸田首相に緊急要望として「別枠での予算処置を国に一層の支援をいただきたいとした」要望書を手渡した。内容は「半導体集積を踏まえた熊本の社会資本整備に関して、道路や鉄道の整備から新たな工業用水確保まで国家プロジェクトとして必要な財源を求める内容だ幅広い内容のトップに置いたのは道路整備だ。中でも「中九州横断道路」の早期開通を強く求めた。

中九州横断道路は2007年以降、大分県（豊後ぶんご犬飼IC)ー竹田IC、ー阿蘇西IC-大津ICが順次開通してきたが、いまだ事業化が決定していない区間も多い。大津西と大津のわずかな間も、調査中の段階だ。

九州の半導体産業はTSMCが進出する熊本に注目があつまりがちだが、大分にも東芝グループのジャパンセミコンダクターをはじめ、多数の半導体関連企業が多数立地している。中九州横断道路が開通すれば、現在は車で4時間程度かかる大分ー熊本間が2時間半程度に短縮する見通しで九州の広域サプライチェーン（供給網）の大動脈となりうる。

「中九州横断道路」は、もともと、沿道周辺の産業振興や地域活性化、豪雨などの災害発生時の救援ルートとしての役割が期待されてきたが、TSMC進出で産業面での重要性がより高まった格好だ、道路以外にも様々なインフラ整備が求められる中、費用対効果の高い事業から優先順位をつけ、ひとつひとつ解決していくことがシリコンアイランドの発展を加速させることになる。との記事でした、道がよくなり、投資した税金が私達の生活にも潤いを与えてくれたら幸いです。今日の会長の時間は以上です。

【委員会報告】

■前ガバナー補佐　鶴田会員

日田RC60周年記念式典パーティー報告

■親睦委員会　上田委員長

玉名RC親睦ゴルフ大会報告
優　勝：渡邉 太朗会員
準優勝：小山 倫生会員

■インターアクト委員会　堀本委員長

インターアクト例会参加ご報告（深見幹事・堀本委員長）
インターアクト現状活動報告について

10月24日(火)
玉名RC親睦ゴルフ大会

優　勝：渡邉 太朗会員
準優勝：小山 倫生会員

会員数	**51（48）名**
出席数	**22名**
出席率	**45.8％**

★大下委員長　10/26例会
スマイル

前回までの累計	￥270,000
今回	￥15,000
合計	**￥285,000**

田中会長	深見幹事	・米山記念奨学生　銭さんのお話し楽しみです。宜しくお願いします。 ・22日の玉名RCゴルフ大会皆さん御参加ありがとうございました。また、上田親睦委員長お世話になりました。
渡邉(知)会員		・天気にも恵まれ疋野神社の秋季大祭も無事盛大に斎行されました。ご参列やご協力ありがとうございました。
鶴田会員		本日は、業務の都合で早退いたしますのでソーリーします。
村上会員	中嶋会員	セン様の卓話を歓迎致します
浜田会員 堀本会員 松﨑会員 西村会員 大下会員 坂本会員 田原会員 上田会員	本田会員 馬氷会員 西嶋会員 大石会員 小山会員 佐藤会員 田村会員 吉岡会員	銭様の卓話を歓迎致します

【本日のプログラム】
米山奨学生卓話

本日は米山奨学生の　銭　暁靚(セン　ギョウセイ)さんより、
例会へ来訪と卓話をして頂きました。

私たちも銭さんの生い立ちなどを聞き文化の違いなどを感じながら、
銭さんを知る機会になり、大変いい時間でした。

皆さん、こんにちは！熊本県立大学のロータリー奨学生、センギョウセイです。

あっという間に、ロータリークラブと半年を共に過ごしました。この間、多くの方々からお世話になり、本当にありがとうございます。
この半年間、何度も自己紹介をしました。そして、最近、少し発表してくださいと頼まれた際、何を話すべきか結構悩みました。正直言って、私の人生はたったの26年しか経過していません。これまでの経験や成就が多くはないため、皆さんにシェアする価値のあることはあまりありませんと思います。

しかし、毎日母に電話をかける習慣があり、その悩みを彼女に打ち明けたところ、彼女は興味深いアドバイスをくれました。「つまらない人生も、実は人生そのものだよ。あなたはそのつまらなさをみんなに共有すればいいじゃないか」と。この言葉に共感しました。たとえ私の人生が目立つような出来事で満ちていないとしても、つまらない瞬間や退屈な経験からも新たな視点や価値が生まれるかもしれません。そこで、この後の30分間、私はこの気持ちでみんなにお話しできればと思います。
私は1997年9月6日に中国の浙江省紹興市で普通の家庭に生まれました。父は派遣会社で部長として働いており、母は農家の出身で、若い頃から家計を支えるために衣料工場で働き、見習いから自分の服装会社を設立するまで努力しました。私の幼少期は両親が頻繁に出張していたため、祖母が私の面倒を見ることが多かったです。祖母は私にとって特別な存在で、彼女の愛情と教育が私の成長に大きな影響を与えました。父の仕事は決して裕福ではありませんでしたが、彼は真面目に働き、家族を支えるために努力しました。母は若い頃の困難な経験から起業し、自分の服装会社を成功させました。彼女の起業精神と決断力は私にも影響を与え、困難に立ち向かう勇気を持つようになりました。
私の視点では、両親と祖母は私の成長の過程で最高のロールモデルです。幼い頃から、彼らのように社会に貢献する有益な人材になることを決意しました。

2004年9月から2010年6月まで、私は中国の浙江省紹興市にある魯迅小学で初めての学習の旅を経験しました。この期間は私の生活の中で重要な時期であり、思い出として残っていますが、実はあまり良い思い出ではありませんでした。
その時、私の両親は長期間の出張が多く、家にほとんどいなかったため、さっき言ったように私の主な世話役は祖母でした。祖母は伝統的な価値観を持つ人で、文化的な教育を受けていなかったため、学業に関してはあまり指導的な役割を果たしていませんでした。この状況が私の学業成績に悪い影響を与え、性格も比較的暗いものとなりました。
さらに、この時期に学校で初めて学校内での暴力を感じました。
私は今でも、クラスメイトが私の宿題の表紙に「センギョウセイは落ちこぼれだ」と書いたことを覚えています。また、教室の席が配置される際、いつも教室の一番後ろの隅に座らされ、学校内での孤立を感じました。

さらに、当時のクラスメイトがソーシャルメディアで私を非難したことも忘れません。これらの経験は私にとって非常に辛いものであり、孤独感や無力感を抱くことが多かったです。
当時、私は友達がおらず、話す相手もいませんでした。両親は忙しく、学業成績が期待に応えないと怒り、電話を急いで切ってしまうことが多かったです。この時期、私は退屈で夢もなく、特に好きなことや夢中になれる趣味がありませんでした。毎日が単調で無味乾燥で、楽しさや喜びを感じることはありませんでした。さらに、他人からの非難や差別的な言動に対しても感情が鈍くなり、感情の起伏がほとんどない状態になりました。

ここで、私の父の弟の子供である従兄弟について触れずにはいられません。幸運なことに、当時、彼と私は同じ小学校に通っており、彼は私よりも3歳年上でした。学校で私がいじめられていることを知った彼は、毎日放課後に私を教室の前で迎えに来て、一緒に家に帰りました。彼は私の安全を心配して、私にとって頼りになる存在でした。

ある日、私が学校でいじめられている瞬間を彼が目撃しました。その時、誰かが私に対して暴力をふるおうとしていました。彼はためらうことなく立ち上がり、私を守ってくれました。暴力は望ましい手段ではありませんが、彼の行動は当時の私にとって非常に助けになりました。彼の勇気と決断力に感謝しています。その瞬間、彼は私の心の中の最後の柔らかさを守ってくれたのです。
もちろん、その後、学校での出来事が先生に知られ、親を呼び出されました。私たちは両親に叱られましたが、その出来事を通じて、家族や友情の大切さを再確認しました。
従兄弟の支援は私にとって大きな励ましであり、彼の存在が私の成長に深い影響を与えました。
私は今でも彼との絆を大切にし、共に過ごした学びの経験に感謝しています。この事の後、私の祖母は私の学業に重きを置くようになりました。
しかし、さっき述べたように、祖母は伝統的で文盲でした。
また、当時補習授業の費用は高額で、家計では日々の授業料を支払う余裕がありませんでした。幸運なことに、祖母の家の近くには名門の大学があり、多くの大学生が通る通りでした。祖母は私の宿題帳を持って大通りに出かけ、通り過ぎる大学生に質問しました。
祖母は通常あまり外出しない人でしたが、私のために風雨をしのいで毎日外出し、宿題の質問をしてくれました。

この行動により、私は幼少期から自分が愛され、大切にされていることを深く感じ、心に留めています。この経験は私にとって非常に温かく、特別なものでした。

その後、私は学業を特に好んでいたわけではありませんが、祖母が宿題の質問をするために大通りに行く時間を短縮するため、学業に集中するようになりました。宿題が学校で完了できる場合は学校ですぐにそれを終わらせ、学校で解決できる問題は直ちに教師に質問しました。祖母の献身的な努力に感謝し、学業に真剣に取り組むようになりました。

この時期の困難な経験は私の人生に影響を与えましたが、同時に逆境から学び、成長する機会でもありました。後に、この経験が私を強くし、他人の感情や困難に共感し、助ける意欲を持つようになりました。そして、自分の過去から学んだことを元に、他人の苦境に寄り添い、前向きな変化をもたらす力を身につけました。この経験から、私は他人を尊重し、助けることの重要性を理解し、自分自身を向上させ、社会に貢献する人としての道を進んでいくことを誓いました。

２０１０年、私は無地に中学校に進学しました。この時期、私はすでに一定の自立能力を身につけており、両親は私を身近に引き戻しました。小学校でのつらい経験を繰り返さないために、積極的に人々とコミュニケーションをとる努力をしました。

母親は初対面の人と微笑むことが失敗しないと教えてくれました。この言葉を心に留め、初対面の人々との自然な会話が難しいものの、皆からは好印象を持たれるようになりました。
他人から陰鬱な印象を持たれていた少女から、笑顔が多く、穏やかで優しい少女に変わりました。
また、この時期に、私にとって非常に重要な2人の友人を作りました。もはや友人と呼ぶには足りないほど、私たちは互いにとって家族のような存在となりました。
一緒に美しい景色を楽しみ、美味しい食事を共にし、お互いの脆弱な一面を見せ合い、それぞれの人生の段階を共有しました。
特筆すべきこととして、そのうちの1人の友人は来年4月に結婚する予定で、私は彼女の花嫁付添人になる予定です。留学を始めてから、一緒に過ごす時間は少なくなりましたが、驚くほどに私たちは会っても話すことが尽きない不思議な友情を築いています。
この友情は私の人生において非常に重要で、お互いに励まし合い、支え合っています。この時期の経験は私の成長に大きな影響を与え、人間関係と友情の大切さを学ぶ機会となりました。

2013年、私はまずまずの高校に入学しました。
この時期、学習をあまり好んでいなかったものの、将来の自由な選択肢を持つために学習が重要であることを理解し、努力し始めました。

高校ではさまざまな科目があり、自分の興味を見つけるのは難しい時もありましたが、授業に真剣に取り組むよう努力しました。
また、高校では新しい友人との出会いもあり、彼女と一緒に学ぶことが楽しくなりました。一緒に勉強し合い、互いに刺激を受けながら成長していく姿が印象的でした。将来の夢や目標に向かって共に励まし合い、夢を実現するために学習に取り組むことが私たちの絆をより強固にしました。

この時期の経験は私にとって重要なもので、学ぶことの大切さと友情の尊さを学びました。将来に向けて努力し、選択肢を広げるために学習を続けることが、私の成長と自己実現につながることを理解しました。高校時代は私にとって大きな学びの時期であり、その経験は私の人生において価値あるものでした。

2019年、私にとっては人生で最も重要な選択と試練が訪れました。それは高校卒業試験、一般的に「高考」として知られている試験でした。この重要な時期で、私は大学への好奇心と憧れに胸を膨らませ、確固たる決意で大学への門をくぐりました。この段階では、友情と家族のサポートが私を明るい性格へと変え、時には楽観的すぎることもありました。
大学に入学すると、すぐに多くの同級生から好かれ、クラス委員長のポジションに選ばれるなど、新しい環境での新たな挑戦が待っていました。
高校を卒業して大学に進学する決定を下すことは、私にとって重要でした。これは将来への扉を開く一歩であり、自由な選択を得るための道でもありました。高校卒業試験は、学業への取り組みと覚悟が試される場でした。私は、この試験に向けて努力し、目標を持ち、学び続ける意志を強化しました。この経験は私の成長に不可欠で、高校卒業試験を通じて、自己超越の重要性を理解しました。

大学に入学すると、新たな友情や経験が私の人生に多くの影響を与えました。友達や家族からのサポートは、私を楽観的で明るい性格に変え、新しい環境で自己表現ができるようにしました。
大学の最初の日から、多くの同級生との交流が始まり、友情が芽生えました。
さらに、私は大学内のさまざまな活動に参加し、社会実践の機会を利用しました。学内の活動に参加することで、多くの異なる背景や専門分野の同級生と出会い、コミュニケーションスキルを向上させ、他人の長所を学び、自分の短所を認識する機会を得ました。
これは私にとってプレッシャーとなる一方で、モチベーションでもありました。
社会的な活動を通じて、新しい友達との出会いや新しい経験を通じて、
自分自身を成長させる機会が増えました。

社会実践は私に多くのことを教えてくれました。家庭教師、ボランティア、販売員などの経験は、自己成長と社会貢献の重要性を理解させてくれました。時には疲れることもありましたが、それでも活動を通じて楽しさを見出しました。新しい友達との共感や協力を通じて、さまざまなスキルと価値観を吸収し、自分自身を向上させました。

高校卒業試験から大学入学、さらに社会実践を経て、私は自分の人生における新しい目標と夢を追求しています。この経験は私に多くのことを教え、自己成長の大切さを理解させました。将来に向かって前進し、新たな挑戦を受け入れ、学び続けることが、私の人生の魅力的な部分であり、成長と自己実現の一助となっています。

【事務局倉庫の引っ越し整理】
例会後に事務局横の倉庫の整理作業が行われました。
スーツ姿のまま重い荷物を運んで下さり、トラック3往復程あった荷物をスッキリと整理して頂きました。ありがとうございました。

ありがとうございます。